

○私が「石狩鍋奉行」です ERIS

市内外のイベントで石狩鍋の普及PRを行う「石狩鍋奉行」が、蝦名ひとみさんに決定しました。任期は来年3月までの1年間で、観光協会の職員として市観光センターに勤務しています。「本場ではキャベツやサンショウが使われていることを知らなかった」と話す蝦名さん。6月に札幌市で開催されるYOSAKOIソーラン祭りでの本格デビューに向け、見習い期間の現在は石狩鍋の歴史や伝統の調理法を学んでいます。



石狩鍋奉行 蝦名 ひとみさん

1990年生まれ。石狩南高校出身。趣味は食べ歩き。(社)石狩観光協会のHP内のブログで日々の奮闘ぶりをつづっています。

○ドライブはあいロードで ERIS

国道231号沿いの観光案内所「あいロードタ日の丘」が今季の営業をスタートしました。今年は新たにオープンテラスがオープン。愛称は厚田区在住の浅野雅文さん考案の「あいロードサンセット広場」に決まりました。



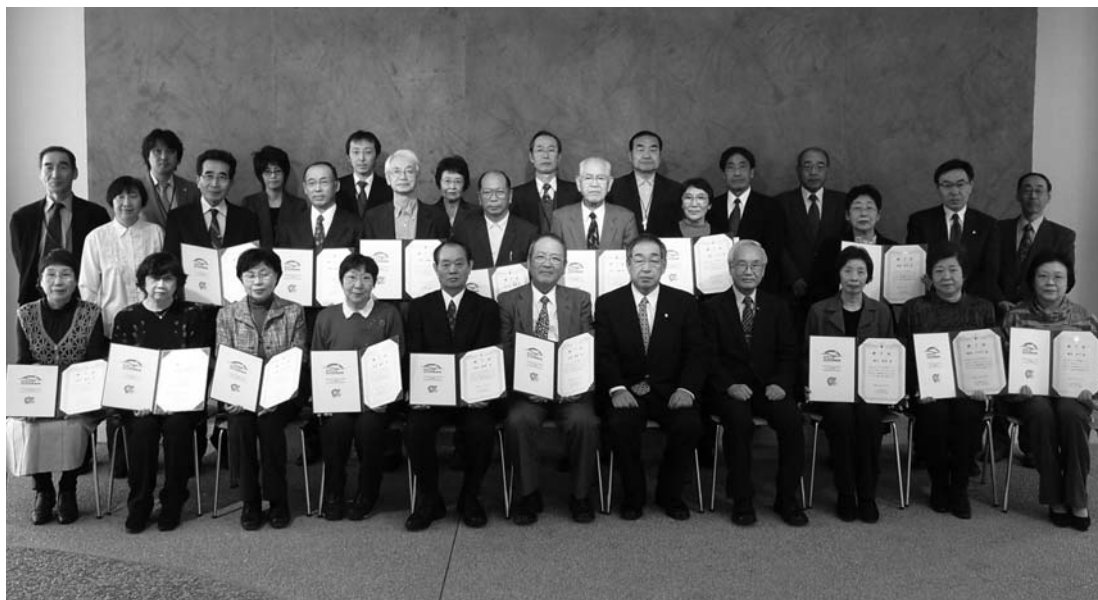
4月9日(土)のオープニングイベントでは、買い物客に焼きたてのホタテ・望来豚が振る舞われました。



石狩北商工会の藤田副会長から記念品を贈呈される浅野さん(写真右)。

○スーパーダイヤモンドに阿部さん

いしかり市民カレッジの第4回修了証授与式が3月24日(木)に市民図書館で開かれ、300講座を修了した現在の最高学位「スーパーダイヤモンド」が、阿部靖さん(花川北)に授与されました。阿部さんは「ありがたいことに、自分も周りも健康だったので、こんなにたくさんの講座を受けることができた」と話していました。



30(ブロンズ)、60(シルバー)、
90(ゴールド)、150(スーパーゴールド)、
200(ダイヤモンド)の
講座修了者の皆さん。

まちの話題

●まちの主な出来事を写真で振り返ります。

こども未来館「あいぽーと」がオープン! ER15

4月1日(金)、市民図書館隣にこども未来館「あいぽーと」がオープンしました。3月31日(木)にはオープニングセレモニーを開催。IYP(石狩ヤングプロジェクト)代表の井溪葉月さんと花川小学校卒業生の伊藤龍弥さんが子どもたちを代表してあいさつした後、パストラルクラブによるエアロダンスや地元高校生によるバンド演奏が披露されました。子どもたちの豊かな表現・発想の場として、今後の活動が期待されます。

オープンに当たり、多くの寄贈をいただきました。(敬称略)

- ・石狩市内郵便局一同(液晶電子黒板 一式)
- ・(社)札幌北法人会石狩支部(プロジェクター 一式)
- ・国際ソロプチミスト石狩(楽器、アンプ 一式)
- ・石狩ライオンズクラブ(洗濯機)
- ・鈴木トミエ(工芸品)
- ・こども未来館建設事業者一同(冷蔵庫)
- ・松緑神道大和山北海道連合青年部(車いす)

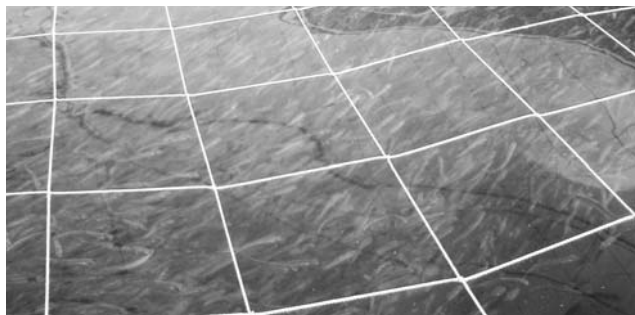


オープニングセレモニーで「ここでは、助け合いが大切」とスピーチする伊藤龍弥さん。

大きくなあれ ER15

3月31日(木)、京極町のふ化場から浜益区へサケの稚魚が運ばれてきました。漁師さんたちの手で1日5回の餌が与えられ、カラスやアオサギなどから守り大きくして川へ放流します。4〜5年後、ふるさとの浜益川に帰ってくるサケ。川辺での遡上見学、釣獲調査(サケ釣り)などでその姿を見せ、秋の食卓ににぎわしてくれるでしょう。厚田区厚田川の飼育施設でも、サケの稚魚を1カ月ほど育てた後、4月23日(土)に放流しました。

よく見ると、稚魚がたくさん泳いでいるのが見えます。



玄米の飯寿司が登場

厚田区在住の平賀敏子さんが、厚田産の玄米で作った飯寿司を提案し、話題を呼んでいます。この飯寿司は、2月19日(土)に花川北コメンで開かれた「いしかり地産地消フェスタ2011」にも出品されました。見た目は一般的な飯寿司よりもやや茶色っぽく、甘さ控えめなのが特徴。平賀さんによると、砂糖の量を抑えており、ヘルシーに仕上がっているそうです。



サケ、ニン、カレイ、ハタハタの4種類の「玄米いずし」。

春の息吹

山菜採り愛好者にとって胸躍るシーズンとなりました。写真は3月末に浜益区のとある場所で芽を出したギョウジャニンニク。「自分だけの秘密の場所」に出会うために自然の奥深くまで入り込むのも魅力ですが、一方で遭難・滑落など多くの事故が発生しているのも事実です。自然への配慮、入山のマナー、行き帰りの交通安全に十分に注意しながら楽しみましょう。



昨年末の同じ場所